

教材教具名 絵本の読み聞かせ 「がたんごとん がたんごとん」	教科(国語)	
-----------------------------------	--------	--

教材教具写真



教材教具の概略(ねらいと使い方) 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

- 1 ねらい 絵本を見聞きするなかで、おおまかなあらすじを理解したり、言葉の繰り返しを期待したりすることができるようになる。  
あらすじを理解して、実際に列車にもものに乗せて楽しむことができるようになる。
- 2 発達段階 模倣・指さしを獲得する時期
- 3 使い方 「がたんごとん」「のせてください」など、繰り返しの表現が多く、児童がお話のあらすじを理解しやすいのではないかと考え、この絵本を教材として選んだ。しかしながら、市販の絵本「がたんごとん がたんごとん」が小さいため、大きく描いて大型絵本を作り読み聞かせをした。その後、お話のあらすじをまねて、汽車の模型にスプーンやコップのおもちゃを乗せる活動をした。汽車一台に児童の顔写真を一枚貼り、自分の顔写真があるところにもものに乗せていった。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等(次に利用する方のために)

大型絵本にしたことについて  
絵本を見聞きすることが苦手な児童が、1回目より2回目というように繰り返し学習することで、絵本をよく見るようになり繰り返しの言葉を聞くと笑って楽しめるようになったことは、大型絵本にした効果もあったと感じている。

汽車の模型等について  
自分の顔写真のところにもものに乗せることができた。汽車がトンネルから出てくるようにするなど工夫して提示することにより、児童の意欲を高めることができた。汽車がもろく、児童が汽車を動かして十分に楽しむことができなかったことが反省として挙げられる。